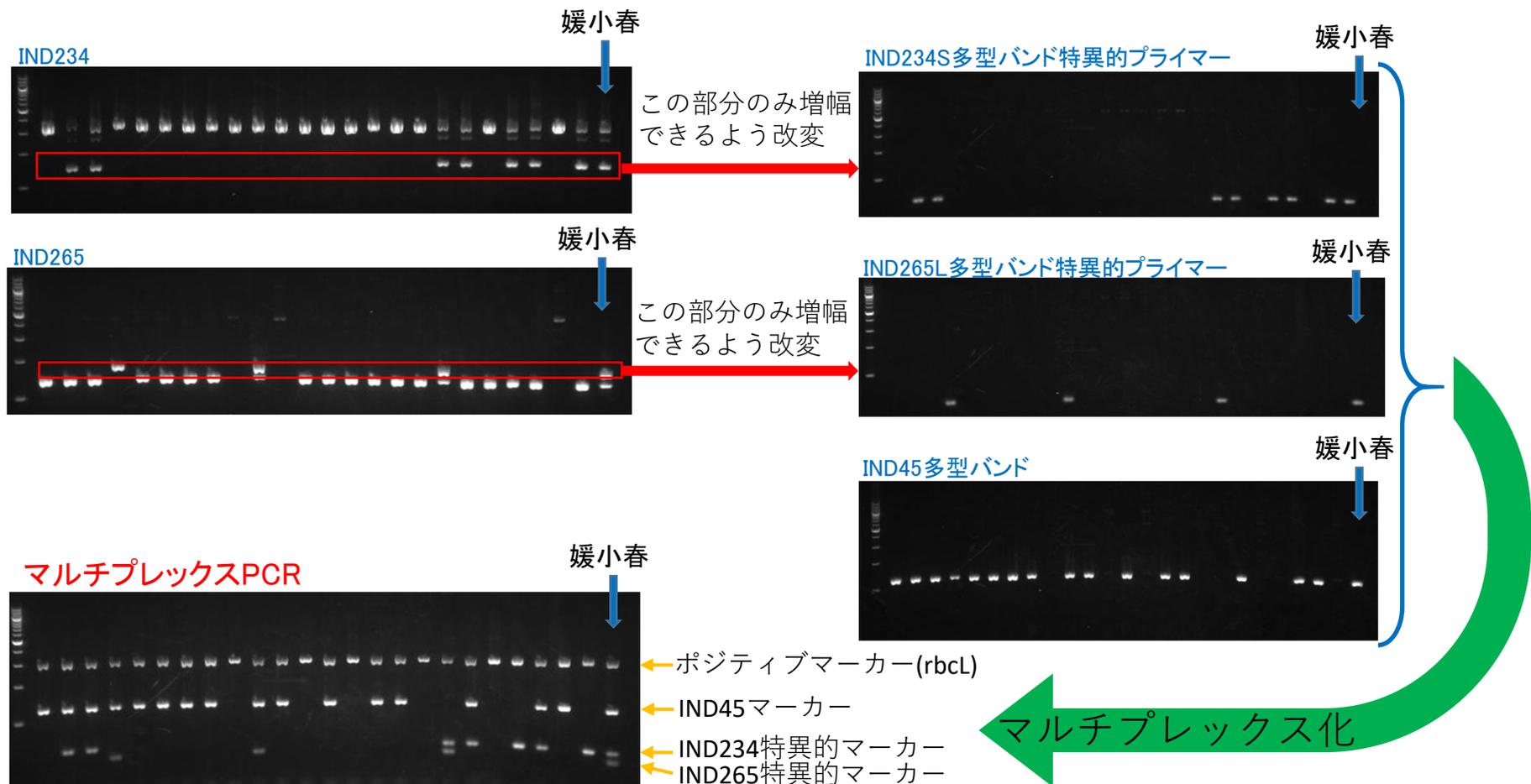


優良品種識別技術開発

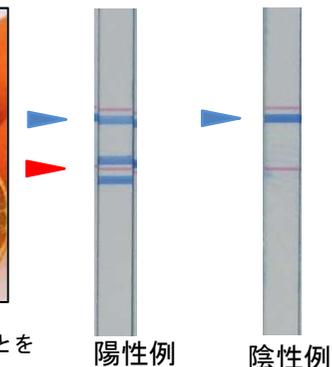
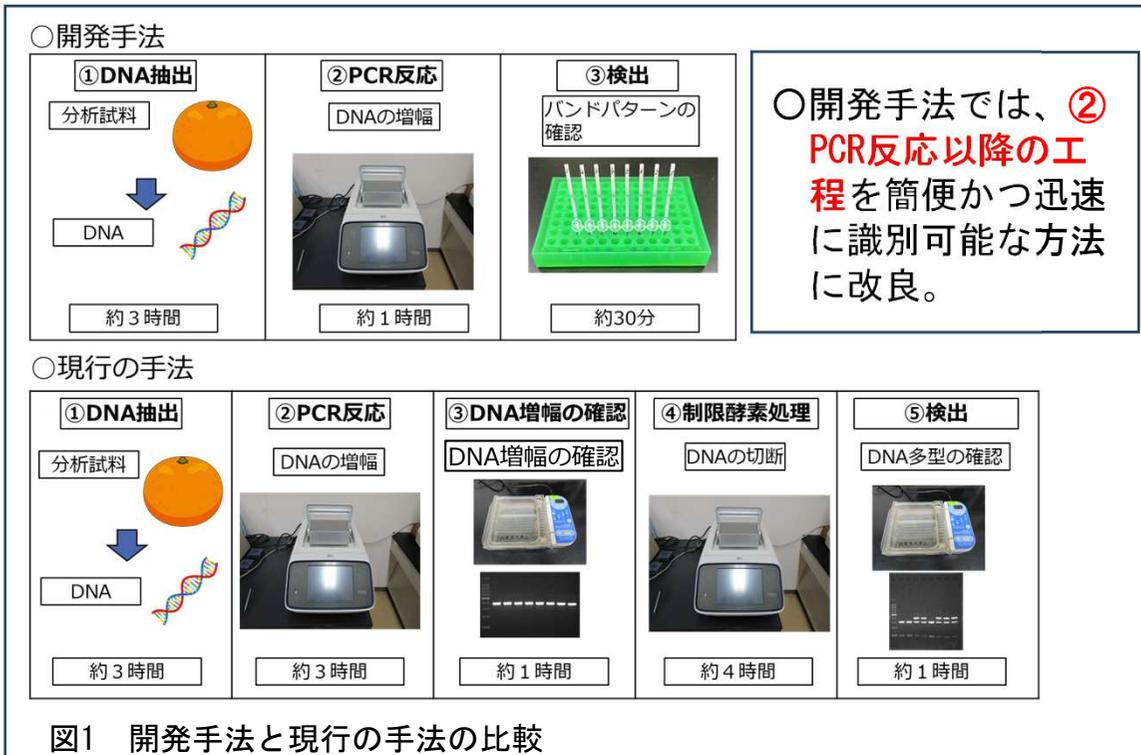
簡易識別マーカ－の設計

品種識別に必要な特異的多型のみを増幅するINDELマーカ－由来のプライマ－(簡易識別マーカ－)の設計に成功した。この、設計した遺伝子マーカ－の特異的多型は全て、その断片が存在すること(ポジティブ)で品種を識別できる遺伝子マーカ－である。また、1度のPCRで3つのマーカ－を同時に検出する(マルチプレックス)ことにも成功した。



DNA検査法を用いたカンキツの品種識別

海外からの逆輸入による育成者権侵害を防止するためには、税関等の水際において、正確な品種識別を行うことが重要です。農林水産省委託プロジェクト研究において農研機構等と共同研究を実施し、簡便かつ迅速に識別可能な技術を開発しました。



▶ はDNAの増幅が成功したことを示すバンド

▶ は品種特異的バンド

図2 「愛媛果試第28号」[左]のメンブレンスティックにより検出されたバンドの陽性例と陰性例[右]

<成果の要約>

○新たな技術は、4～5時間（現行は2～3日）で識別可能

○「愛媛果試第28号(紅まどな)」・「媛小春」の識別キットが(株)ファスマックより製品化。

※「甘平」・「愛媛果試第48号(紅プリンセス)」については、現在試験中